

北朝鮮に「ロケット」発射計画の中止を求める決議

北朝鮮政府は、4月12日から16日の間に「実用衛星」を打ち上げると発表した。この問題に関して、世界とアジア諸国から強い批判と懸念の声が広がっている。

これまで、北朝鮮は、いかなる核実験または弾道ミサイルの発射をこれ以上実施しないことを北朝鮮に要求した国連安保理決議に違反し、また、北朝鮮が一切の核兵器及び現在の核計画を放棄すると合意した6カ国共同声明にも違反して、核実験及びミサイルの発射を行ってきた。この経過に立ち、国連決議は、「北朝鮮に対し、いかなる核実験又は弾道ミサイル技術を使用した発射もこれ以上実施しないことを要求する」と述べている。北朝鮮は、この国際社会の決定を重く受け止めるべきである。

東大和市議会は、北朝鮮が行った2009年5月25日核実験に対して厳しく批判し、核実験及び核兵器開発計画の中止を求める決議を行ってきた。

東大和市議会は、世界の恒久平和と東アジアの平和と安定を願い、北朝鮮政府が「ロケット」発射計画を中止することを強く求めるとともに、北朝鮮政府が国連安保理決議を守り、6カ国協議の共同声明に立ち返り、国際社会の責任ある一員としての行動をするよう求めるものである。

以上、決議する。

(議決日) 平成24年3月28日